

6月17日（月）「読書旬間について」

全校のみなさん、おはようございます。

さて、先週から読書旬間が始まりました。読書（本を読む）は「心の貯金箱」とも言われています。読書をすることによって、登場人物の気持ちを考えて、嬉しくなったり、悲しくなったりして自分の心が揺れ動きます。また、物語がこの先どのようなのかなどハラハラドキドキ、ワクワクすることもあります。そういう心の動きや感動が、自分の心を豊かにしているのです。今の時代は、アニメや映画など動画を見ることが多くなり、本を読む人が少なくなっていると言われています。閉店してしまう本屋さんも少なくありません。

文字を読む場合と動画を見る場合と、人間の想像力はどちらが成長するかを研究した結果があります。結果は、文字を読む方が良かったとあります。その理由として、文字を読むことで脳の働きが良くなりイメージを膨らませることができるようになるそうです。また、考える力も高まるそうです。読書は「頭の貯金箱」とも言われ、今まで知らなかったことやためになることを学び、知識を増やすことができます。読書は心にも頭にも栄養を与えてくれます。そして、是非、取り組んでみてほしいことが2つあります。それは、いろいろな種類の本を読んでみることです。今まで、読んだことがない本も手に取って読んでみてください。新たな発見がたくさんあります。もう一つは、読んだ本のことを友達に紹介してみましよう。高学年のみなさんは、おすすめの本を紹介する「ビブリオバトル」という学習をしていますね。ぜひ友達が読みたくなるような紹介をしていてください。読書旬間の取組を通して、滝坂小学校のみんなが本好きになるといいですね。

それではこれで校長先生のお話を終わります。